



すぎのこ つうしん



船橋市立金杉台小学校 学校だより 7月号

〒273-0852 船橋市金杉台2-1-7

電話047(448)3876

ホームページ <http://www.city.funabashi.lg.jp/gakkou/0001/kanasugidai-e/index.html>

金杉台小ブログ

うそつきは泥棒のはじまり？

校長 中野 誠

小暑の候、保護者・地域の皆様にはますますご健勝のことと存じます。二度にわたる台風の直撃で、教育課程を大きく変更することがあり、ご心配をおかけいたしました。おかげさまで子どもたちや教職員、学校施設への大きな被害はなく皆様のご協力とご理解に心より感謝申し上げます。

さて、先日の新聞に「うそが多い小学生の息子」と題し、わが子がうそをつくことに悩む親の相談が載っていました。「うそをつくことに困り、どうしたらよいかわかりません」という切実な相談です。

発達心理学では、子どものうそを大きく4つに分けています。

①空想のうそ(空想と現実が混同してしまう) *幼児期

「ぼくのパパは宇宙飛行士。今は月に行ってる」

②自分を守るうそ(叱責の回避、自己防衛) *小学校低学年～

「私じゃない。やったのはほかの人」「先生がやらないでいいって言った」

③自分をよく見せるうそ(自己顕示・願望) *小学校中学年～

「昨日芸能人に会った」「ゲームをたくさん買ってもらった」

④相手を気づかううそ(優しさ・調和) *小学校高学年～

「〇〇君は悪くない。ぼくが『やって』って頼んだから、ぼくが悪い」



このように並べてみると、子どものうそは心の発達に応じて進化していることがわかります。うそつきは泥棒のはじまりではなく、成長のあかしです。そして、子どものうそには必ず理由があり、その背景にある心の揺れを見極める必要があります。叱責を避けるためのうそであれば、日ごろ厳しく接しすぎていないか。自己顕示のためのうそであれば、認めてあげることや共感することを怠っていないか。まずは私たち大人の姿勢を顧みる必要があります。子どものうそには、子どもの成長の表れとともに子どもなりの葛藤と、幼いながらの一生懸命な自尊心が隠されています。

この相談欄で専門家は「うその根っこにある不安やプレッシャーを解決してあげることが大事」とコメントしていました。人間には、もともと「正直でありたい」という本能があるといえます。うそで取り繕うことなく、ありのままの自分を受け入れてもらえる心地よさを知ったとき、子どもたちは自然とうそをつく必要がなくなっていくのではないのでしょうか。子どもたちがいつも正直に、自分らしく歩いていけるよう、学校・家庭・地域が一体となって、その健やかな成長を温かく応援してまいりましょう。

◆学校閉庁日の緊急連絡先について

≪学校閉庁日≫ 8月12日(火)～14日(金)、
17日(月)の4日間

≪学校閉庁期間中の緊急連絡先≫

○児童の事故【保健体育課】047-436-2876

○その他の緊急連絡【学務課】047-436-2855

◆夏休みの学校図書館開放について

以下の期間、学校図書館(校舎3階)を開放いたします。図書の返却や貸出、自学自習に利用できます。ただし、使用は本校児童に限ります。保護者の方も同行できますが、未就学児の利用はご遠慮ください。

開放期間: 8月27日(木)、28(金)、31日(月)

いずれも 9:30～11:30